

報 道 資 料

令和5年 5月30日
県土マネジメント部 河川整備課
担当 近藤課長補佐・川端係長
ダイヤル0742-27-7504(内線4181)

洪水浸水想定区域図を公表 ～水害による被害を軽減するために～

洪水浸水想定区域とは、洪水により相当な損害が生じる恐れのある河川（以下、水位周知河川）について洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したものです。また、市町村が作成する洪水ハザードマップの基本情報となります。

近年、これまでの想定を上回る豪雨が発生し、浸水被害が多発していることへの対応を図るため、平成27年の水防法改正に伴い、想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を作成することとなりました。

奈良県では、令和2年3月までに水位周知河川23河川について想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表が完了したところです。

この度、令和3年5月の水防法改正により、法改正前までは、洪水浸水想定区域の指定対象ではなかった中小河川が追加され、水害リスク情報の空白地帯の解消を目指すこととされ、洪水浸水想定区域図を作成が完了いたしましたので、下記のとおり公表します。

記

1 対象河川	大和川水系	大和川、原川	他	計	136河川
	紀の川水系	紀の川、落合川	他	計	59河川
	淀川水系	天野川、穴虫川	他	計	65河川
	新宮川水系	熊野川、北山川	他	計	25河川

- 2 公表内容
- ・洪水浸水想定区域（想定最大規模）
 - ・浸水継続時間（想定最大規模）
 - ・洪水浸水想定区域（計画規模）
 - ・家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
 - ・家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

- 3 閲覧場所
- ・県土マネジメント部河川整備課及び関係土木事務所で縦覧